

「活力あふれる山形県」を目指して

～ 第3次山形県総合発展計画の概要 ～

いま、山形県では、
どんなことが起きて

いるのかな？

人口は？ さんぎょう 産業は？ 生活は？



???



???



みらい
“未来の山形県”に向けて、
県は、どんなことに取り組んで
いくのかな？



山形県
平成26年10月

いま、山形県では、 こんなことが起きています。

県の人口が、年々、減少
しているよ。



オシドリ（県の鳥）

農業も工業も、他の県や
外国との競争が激しくな
っているよ。



カモシカ（県の獣）

地球温暖化防止など
環境問題への対応も
大事だね。



サクラマス（県の魚）

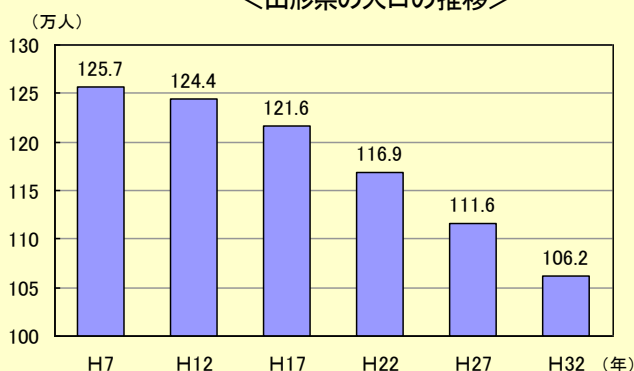


くわしく見てみよう

山形県の人口はどれくらいでしょうか？
これからどうなっていくのでしょうか？

- 山形県の人口は、平成25年10月現在で、約114万人です。（参考：山形県統計企画課「平成25年 山形県の人口と世帯数」）
- 平成32年の山形県の人口は、約106万2千人まで減少すると考えられています。毎年約1万人減っていくこととなります。

＜山形県の人口の推移＞



〔H7、12、17、22は実績値
(総務省「国勢調査」)、
H27、32は推計値〕

資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別 将来推計人口」

◇調べてみよう

なぜ、山形県の人口は減っているのでしょうか？

生まれる人の数（出生数）、亡くなる人の数（死亡数）、県外から入ってくる人の数（転入数）、県外へ出て行く人の数（転出数）はどうなっているのでしょうか？

⇒ 山形県統計企画課「山形県の人口と世帯数」（年報）が参考になるよ。

鳥、獣、魚以外の
県のシンボルは、次の
とおりです。



べにばな
（県の花）



さくらんぼ
（県の木）



けんしょう
県章
（県のマーク）

※三つの三角形は、
山形県の山々と
最上川の流れを
表しています。

「第3次山形県総合発展計画」に基づき、 次のようなことに取り組んでいきます。

「第3次山形県総合発展計画」は、山形県がどんな県を目指し、その実現に向けて、どんなことに取り組んでいくかを書いた、山形県の一番基本となる計画のことです。
平成22年3月にできました。

① みんなの暮らし

●子どもは地域の宝物

誰でも安心して子どもを生ま育てることができる社会をつくっていきます。

●みんなが未来の山形の主人公

学校と家庭や地域が協力して、子どもたちみんなのやる気や能力を伸ばす教育を行っていきます。

●暮らしの基本は安全・安心

病気になっても、介護が必要になっても安心な社会、犯罪の防止や災害への備えがしっかりした安全な社会をつくっていきます。

●地域の問題はみんなで解決

地域の中の困ったことをいろいろな人やグループが力をあわせて解決していきます。



くわしく見てみよう

近所やまちなかで、右のようなステッカーが
はられているお店を見たことはありませんか？
どんなお店でしょうか？



- 県と県内の市町村で実施している「やまがた子育て応援パスポート事業」に協力してくれるお店です。
- このお店で、右のようなパスポートカードを見せると、料金の割引きや飲物のプレゼントなど、いろんなサービスを受けることができます。
- 県では、生まれてくる子どもの数が年々減ってきていることから、子育て支援や少子化対策に力を入れています。
家庭や企業、地域が協力して、県民みんなで「子育てするなら山形県」と誇れる社会をつくっていきましょう。



妊婦さんや小学校6年生までの子どもがいる家庭に配られています。

どのお店で、どんなサービスが受けられるかは、県のホームページで確認できます。

◇調べてみよう

なぜ、山形県の子どもの数が減っているのでしょうか？

子どもの数が減っていくと、どんな影響が出てくるのでしょうか？

⇒ 山形県子育て支援課「やまがた子育て応援プラン」が参考になるよ。

② 山形の産業

●未来に向けた研究開発

大学や研究機関、企業などが協力して、新しい技術や製品の研究開発を行っています。

●みんなの自慢「おいしい山形」

豊かな自然と高い技術をもとに、おいしくて、安全・安心な農林水産物を生産・販売していきます。

●世界に広がる「ものづくり山形」

県内の企業の優れたものづくり技術をもとに、地域全体で高品質な製品を製造・販売していきます。

●多くの人々が訪れる魅力ある「観光・交流山形」

豊かな自然や歴史、文化、食べ物などを活用して、たくさんの人が観光・交流に訪れる魅力ある山形をつくっていきます。

●誰もが能力を発揮できる多様な働く場

誰もがやる気と能力を発揮し、生き活きと働くことができる、いろんな働く場をつくっていきます。



くわしく見てみよう

山形県には生産量が日本一の果物が2つあります。何と何でしょうか？

- 生産量が日本一の山形県の果物は、さくらんぼと西洋なしです。(参考：農林水産省「平成24年度果樹生産出荷統計」)

山形県は、ぶどうやもも、りんごの生産もさかんです。

- 県内では、果物以外にも、お米や野菜などおいしくて、安全・安心な農林水産物がたくさん生産されています。
- 山形県の新しいお米「つや姫」は、平成22年秋から販売されています。

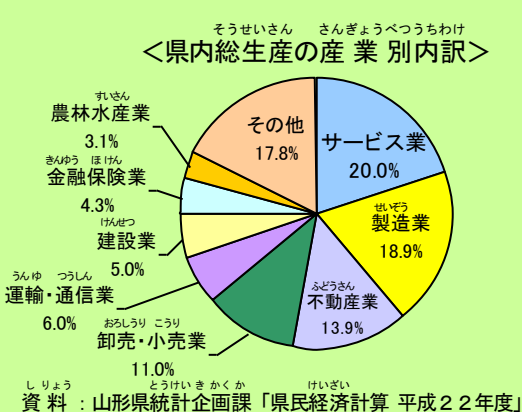


県では、「ペロリン」をPRキャラクターに、山形県の農林水産物を広く宣伝しています。



くわしく見てみよう

県内の経済活動全体の生産額のうち、「ものづくり」(製造業)によって生み出される割合はどれくらいでしょうか？



- 平成22年度の県内の経済活動全体の生産額(県内総生産)は約3兆7千億円で、そのうちのおよそ20%がサービス業、およそ19%が「ものづくり」(製造業)によって生み出されています。

- 県内には、高度な技術を持ち、全国や世界で活躍する元気なものづくり企業がたくさんあります。
山形県産業科学館(山形市)では、県内の企業の最先端技術を見ることができます。

◇調べてみよう

山形県の「ものづくり」は江戸時代の頃からさかんになってきましたが、現在まで、どのように発展してきたのでしょうか？

⇒ 山形県工業会が作成したガイド本「山形ものづくり探検隊」が参考になるよ。

ち い き ③ 県土と地域社会

●未来につなぐ美しい自然

多くの人や企業が参加して、水や緑など豊かな自然を守る活動を行っています。

●エネルギーの安定供給

太陽や風など自然の力で繰り返し利用できるエネルギーの導入に取り組んでいます。

●みんなで地球温暖化を防止

家庭や企業などで省エネルギーやごみの減量に取り組んでいます。

●暮らしや産業を支える社会資本

人や物の移動に必要な道路や鉄道などを整備していきます。

●みんなが住みよい地域づくり

個性を活かした地域づくりや地域同士の連携・交流を通じて、誰もが住みよい地域をつくっていきます。



くわしく見てみよう

山形県の人たちは、毎日一人あたりどれくらいのごみを出しているのでしょうか？

- 平成24年度の県民一人一日あたりのごみ排出量は912gです。
(参考：山形県循環型社会推進課「平成25年度版 山形県循環型社会白書」)
県では、平成32年度までに、820gに減らすことを目標にしています。
- 県では、ごみの減量やリサイクルなどを通じて、ごみの埋め立てをゼロにする「ごみゼロやまがた県民運動」を行っています。



ごみゼロくん
(ごみゼロやまがた県民運動キャラクター)



くわしく見てみよう

自動車が多く走れる高速道路は、県内のどこを走っているのでしょうか？



- 県内の高速道路は、左の図の実線のように通っています。
- 左の図のとおり、県内の高速道路はまだまだ細切れで、特に緑の点線で囲まれた部分のように、隣の県に通じる区間の整備ができています。
- 現在整備中の道路(点線)ができると、県内の高速道路の約85%がつながることになります。

※道路の読み方

- ①：にほんかいえんがんとうほくじどうしゃどう (にほんかいとうほくじどうしゃどう)
- ②：とうほくちゅうおうじどうしゃどう
- ③：とうほくおうだんじどうしゃどうさかたせん (やまがたじどうしゃどう)

◇調べてみよう

高速道路と一般の道路の違いは何でしょうか？

高速道路は、みんなの生活にどのように関わっているのでしょうか？

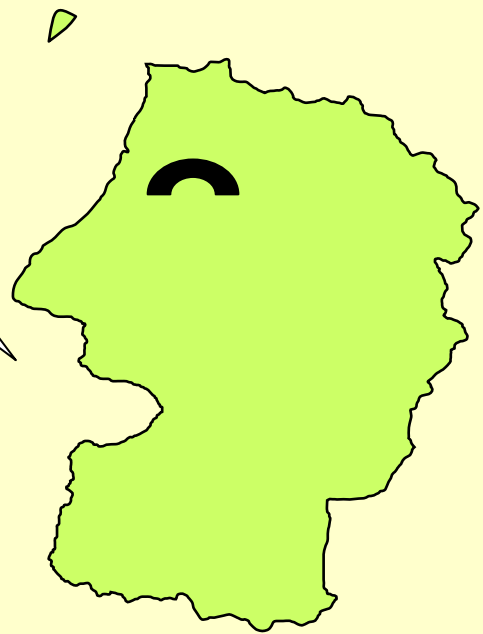
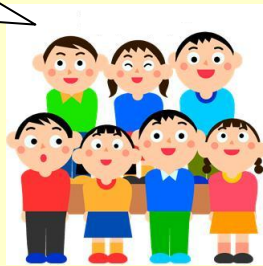
⇒ 山形県のホームページ内のサイト「やまがた県土未来のはなし」(山形県管理課)が参考になるよ。

みんなで作ろう！

明日の山形県

明日の山形県をつくっていくのは、
君たち一人ひとりだよ。
みんなで、「山形に住んで良かった」
と思える、「活力あふれる山形県」をつ
くっていこう。

みんなで作ろう！
明日の山形県



◇みんなで話し合ってみよう

あなたが、「山形に住んで良かった」と思うのはどんなときですか。
また、山形の好きなところは、どんなところですか。
山形の魅力について、みんなで話し合ってみましょう。

自然が豊かなこと、おいしい食べ物がたくさんあること、
人々があたたかいことなど、いろいろ考えられるね。



※ 各ページの◇調べてみようさんこうしりょうの参考資料は、県のホームページ (<http://www.pref.yamagata.jp/>) から見るすることができます。
「山形ものづくり探検隊」は、「ものづくりヤマガタ情報サイト」 (<http://mono-yamagata.jp/>) を見てください。

きかくしんこうぶきかくちょうせいか
山形県企画振興部企画調整課

〒990-8570 山形市松波二丁目8番1号
TEL:023-630-2895 FAX:023-624-2775